SHIKOKU POLYTECHNIC COLLEGE
CAMPUS GUIDE 2022

四国職業能力開発大学校

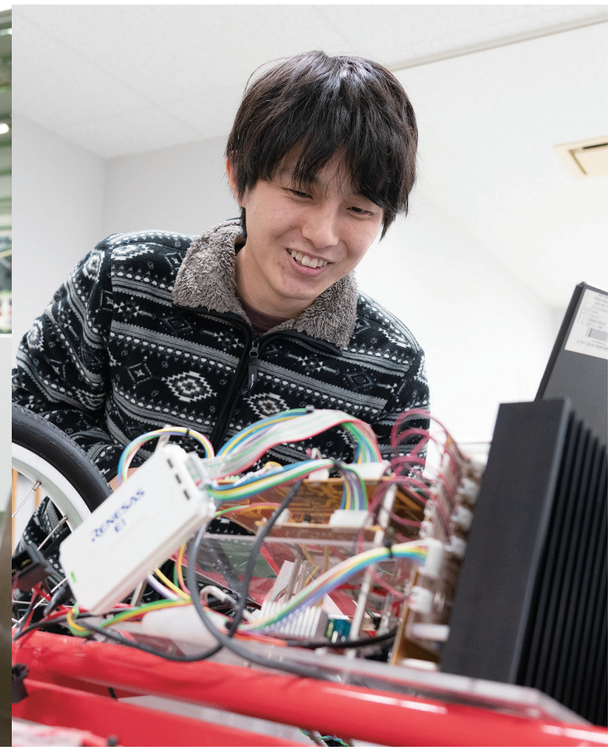
ものを、人を、情報を動かす人であれ

[機械系]
- 専門課程　生産機械技術科
- 応用課程　生産機械システム技術科

[電気電子系]
- 専門課程　電気エネルギー制御科
- 応用課程　生産電気システム技術科

[電子情報系]
- 専門課程　電子情報技術科
- 応用課程　生産電子情報システム技術科

[居住系]
- 専門課程　住居環境科



未来への懸け橋
人・技・創のものづくり

ものづくりの喜びは、人の行動をそして人の心を感動させること、ものづくりを通じて笑顔の共感を広げること、いきいきとした社会づくりに貢献すること。そのために地域社会の信頼を得ること、そして言葉だけじゃない行動と実力こそが説得力となる。揺るぎない基礎固めをした実力を身につけ、やがては近未来への提案の出来る人材へ、ここから始まる未来志向。

近年の科学技術の進展には目を見張るものがあり、ますます高度化・多様化・複合化していく中で、ロボットや人工知能、情報通信などの技術発展により様々なモノが相互に作用することで、これまで夢物語であったようなことが可能となってきています。そして、第4次産業革命と呼ばれているこれらの革新的な技術を使いこなすことができる人材を育成することが重要となってきています。技術立国日本のさらなる発展のためには、技術の根底に流れる基本的な原理を理解しつつ実践的な技術力を備えた人材がカギを握ることになるでしょう。

皆さんには、四国職業能力開発大学校で切磋琢磨して、まさにそのような人材になっていただき、実践的な技術者として、また生産技術・生産管理部門のリーダーとして活躍していただきたいと思っています。

本校は厚生労働省の下に置かれている高度教育機関ですので大学ではなく大学校と称しています。一般の工科系大学と異なるのは、単に工学的知識を身につけるだけではなく、実験・実習に多くの時間を割き、実践技術者として活躍するための高度な技能・技術力を習得できるカリキュラムを用意していることです。そして、高学年に対応するカリキュラムでは、ロボット技術を中心とした機械系、電気系、電子情報系を横断するコース設定を行い、先頭を切って第4次産業革命を推し進めることができる人材を育成します。

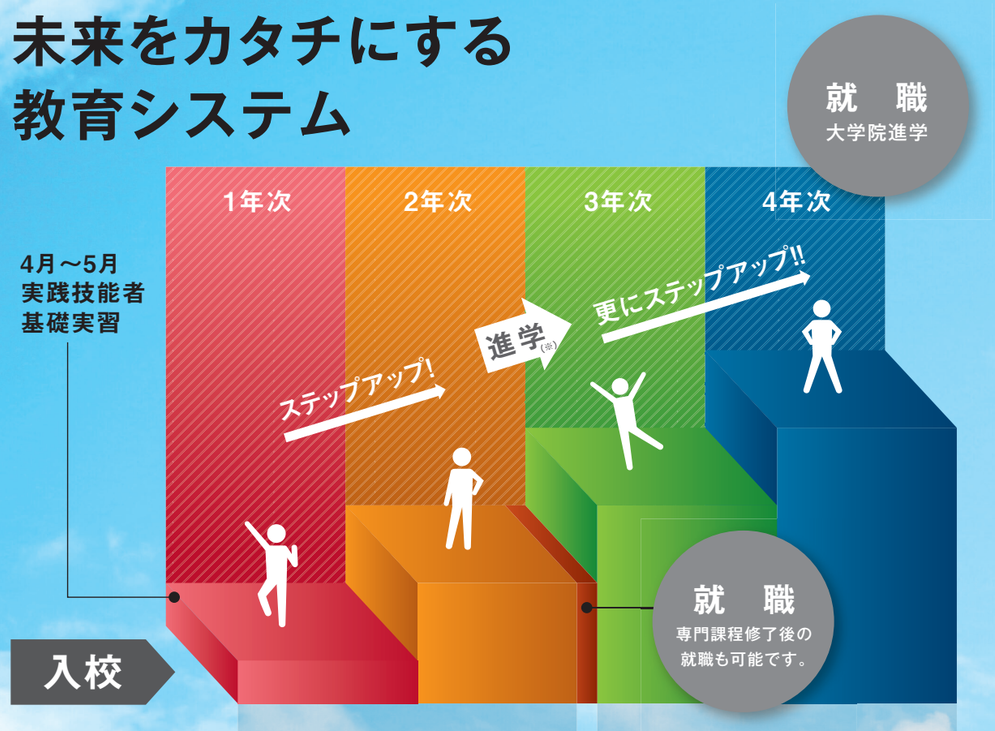
また、本校では、充実した実験・実習設備による実学融合教育を少人数制で実施しており、技能・技術を競う競技大会でも上位の成績をおさめています。高学年になるとチームで「ものづくり」課題に取り組みます。そこでは、新しいことにチャレンジする方法を学ぶだけでなく、コミュニケーション力やリーダーシップ力、マネージメント力も養われます。

大いに勉強し、大いに議論し、コミュニケーション・リーダーシップ・マネージメントの三つの力を大いに養って、自分の人生と未来を切り開く力を身につけ、我が国の技術力進展に貢献してください。そのためにぜひ、四国職業能力開発大学校の扉をたたいてください。

現代の匠となり技術立国日本を支えるのはあなたたちです。

校長　相良和伸
大阪大学名誉教授
工学博士

未来をカタチにする教育システム



	専門課程 1･2年次	応用課程 3･4年次
機械系 P17	生産機械技術科 P19	生産機械システム技術科 P20
電気電子系 P21	電気エネルギー制御科 P23	生産電気システム技術科 P24
電子情報系 P25	電子情報技術科 P27	生産電子情報システム技術科 P28
住居系 P29	住居環境科 P31	建築施工システム技術科

「専門課程」は、高校卒業者等を対象に、基礎的な技能･技術から専門分野に必要な高度な技能･技術までを体系的に習得する2年間の課程です。

「応用課程」は、専門課程修了者、または同等の技能と知識を有する方などを対象に、高度な技能･技術や企画･開発力などを習得する2年間の課程です。

※応用課程への進学は、入校試験があります。
※建築施工システム技術科は他の職業能力開発大学校（九州･近畿等）への進学になります。
※電気電子系と電子情報系に限り、応用課程に進学する場合は系を跨いだ選択が可能となります。

ものづくりに興味のあるキミに “ものづくり系”から“ものづくり”の道へ

ものづくり系の入校制度

ものづくり系の入校制度は、入校後に専攻科を決めることができる制度です。

専攻科は、住居環境科を除く生産機械技術科、電気エネルギー制御科、電子情報技術科の3科となります。科の特徴を理解したうえで、専攻科を選択したいと希望する受験生が対象となります。受験は、一般入試A日程及びB日程です。

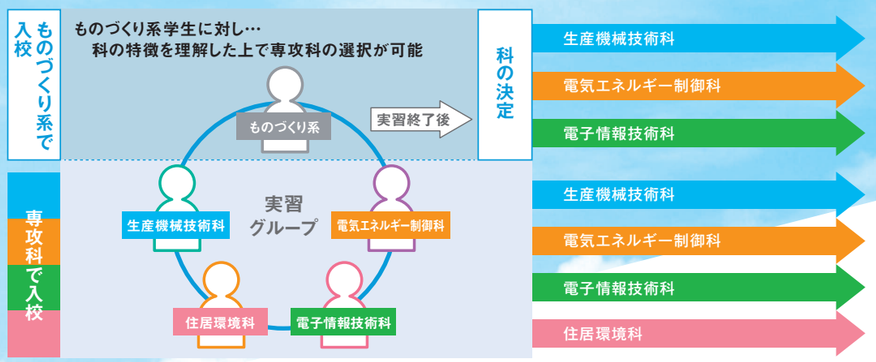
入校後の「実践技能者基礎実習」受講中に教員との定期的な面談等のアドバイスにより、あなた自身の適性を見定めたうえで専攻科を決定できるメリットがあります。

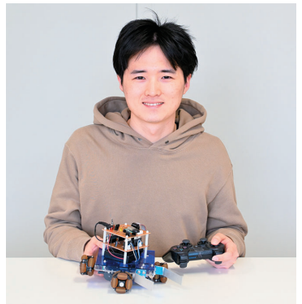
原則として、本人の希望を優先し、入校後5月中に科を決定します。ただし、希望者が集中した場合は、適性（実践技能者基礎実習の成績を含む）、面談等をもって総合的に決定することになります。

4月 → 5月 → 6月

[実践技能者基礎実習] ※本実習については、p33をご覧ください。

入校後1か月で工科系に必要な基礎を学ぶものです。機械分野、電気分野、電子情報分野、居住分野における基礎的な知識をグループ制で習得するカリキュラムです。
※入校生全員が受講します。





ものづくり系で入校した学生へインタビュー

香川県藤井高等学校 普通科 出身
ものづくり系 ⇒ 電子情報技術科

横山 亮

県外の大学を卒業して就職する予定でしたが、子どもの頃から興味があったものづくりの仕事がしたいと思い、本校で学び直すことにしました。入学願書を出すのが遅れて科を選択する時間がなかったため、ものづくり系での1カ月間は、自分が進むべき道を確認する有意義な時間でした。今は電子情報技術科でプログラミングを基礎から学んでいます。試行錯誤して作成したプログラムで、機械が思い通りに動いた時の達成感はたまらないですね。

新設　生産ロボットシステムコース

新分野技術で時代が変わる!
四国能開大も変わる!

生産系応用課程に生産ロボットシステムコースを設置。
第4次産業革命(※)に対応できる実践技術者を目指す。

企業の声　新設「生産ロボットシステムコース」

生産ロボットの産業界の動向を調査するため、愛媛県東温市を所在地とする株式会社ヒカリ(愛媛県東温市南野田418-4TEL089-960-5511)へ、本校生産電子情報システム技術科2年生永田康高君(株式会社ヒカリ内定、愛媛県出身)が訪問しました。

株式会社ヒカリは、FA事業、加工事業、商社事業の三事業で顧客から厚い信頼を受けております。とくにFA事業部は、合理化・省力化の自動機械の設計・製造・販売・メンテナンスを一貫体制で行っており、産業用ロボット分野の根幹を成すものです。

株式会社ヒカリ取締役
製造本部長研究開発室長
宮城 貞二 様

■「生産ロボットシステムコース」への期待

当社は、個別受注生産のため、お客様からの課題は、常に未知との出会いとなり、課題解決の経験値を上げることと自己啓発が必須です。それにより、技量が向上して仕事への興味を深め、得意分野に気づくという出会いもあります。そのため当社では、「好きなことで仕事ができる環境づくり」の環境整備に力を注いでおります。

四国職業能力開発大学校に新設する生産ロボットシステムコースの特長であるコンテンツやカリキュラムが求めるゴールからアプローチする人材育成方法は、これからの技術者教育に必要となります。学生自ら「成功経験を重ねること、自分の好きなことと得意なことをいち早く発見すること。」に精進し、社会で活躍する人材となることを期待します。

■第4次産業革命時代にも、チームワークが重要

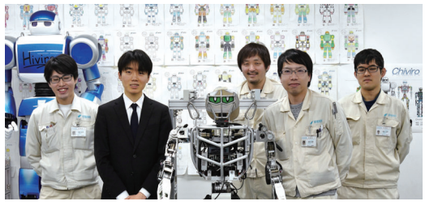
第4次産業革命は、これまでの企業サービスに多様化、スピード化を求め、あり方そのものが変化する時代へと突入しています。とくに産業用ロボットは、ますますその変化への適応が速くなると考えています。当社で重要視することは、営業、設計、制御、組立、メンテナンスそれぞれが独立するのではなく、一つのチームとして機能するかどうかです。仕事に対するメンバー同士の共感力すなわち、チームワークの繋がりが重要となります。チームワークを形成するためには、チームとして行動した結果に基づき議論を重ねていくことです。

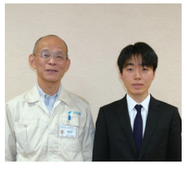
生産ロボットシステムコースのスタイルとして、学生同士のチームワークでさまざまな課題を克服することは、学生自身の共感力を高めていくことであり、とても意義のあることです。是非、チームワーク力で課題に挑戦し、ロボット技術者としての礎となることを期待しております。

■「四国職業能力開発大学校」への期待

技術者として成長するためには、挑戦する機会と成功体験を積むことが重要です。生産ロボットシステムコースでは、産業界の現場に即した実習によりロボット技術の歴史から最新技術に至るまで学ぶことで、産業界で必要とされるロボット技術者が育成されると確信しています。

これからの時代、生産現場では、技術力のバリエーションかつ、難易度も求められ、技術者個々の能力で対応することが難しくなってきています。だからこそ、四国職業能力開発大学校「生産ロボットシステムコース」には、若い技術者育成の成果を期待しています。





永田 康高君 コメント

ロボット技術に興味があり、専門課程2年の時、若年者ものづくり競技大会「ロボットソフト組込み」に挑戦しました。応用課程では、「故障診断」に関するテーマで開発課題に取り組んできました。株式会社ヒカリへの入社志望は、ロボット技術者になることです。

■ 生産ロボットシステムコースの目標は?

ロボット関連技術を活用した生産システムの構築、運用管理、保守、および改善ができる「生産技術・生産管理部門のリーダー」を育成することです。

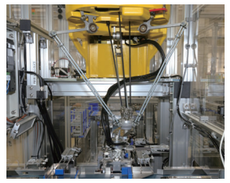
■ どうすれば、生産ロボットシステムコースを専攻できるの?

応用課程(生産機械システム技術科、生産電気システム技術科、生産電子情報システム技術科)に入校し、3年次の9月までにコースを選択します。(定員:各科5名程度)

専門課程	応用課程		
1・2年次	3年次		4年次
生産機械技術科	生産機械システム技術科(定員20名)	[生産ロボットシステムコース] 生産機械システム技術科 生産電気システム技術科 生産電子情報システム技術科	(15名)
電気エネルギー制御科	生産電気システム技術科(定員20名)	生産機械システム技術科	(15名)
		生産電気システム技術科	(15名)
電子情報技術科	生産電子情報システム技術科(定員25名)	生産電子情報システム技術科	(20名)

■ どんな教材やカリキュラムが用意されているの?

今まで本校に設置されている、機械、電気、電子情報の充実した実習機材に加えて、新たに4台の産業用ロボットを搭載した新分野技術にも対応できる実習装置が導入されています。



産業用ロボットを使うために必要な特別教育を実施し、ロボット工学やロボット工学実習などロボットの基礎からその利活用方法までを、自分の専攻技術を活かして学ぶことができます。

■ 実習風景

専門課程で、基礎からそれぞれの専攻分野を勉強しているので、応用課程で、最新分野にチャレンジできる!

memo

[第4次産業革命とは]

18世紀末以降の水力発電や蒸気機関による工場の機械化は第1次産業革命。20世紀初頭の分業に基づく電力を用いた大量生産は第2次産業革命。1970年代初頭からの電子工学や情報技術を用いたオートメーション化は第3次産業革命と呼ばれています。

第4次産業革命は、IoT、ビッグデータ、AI、ロボットなどの技術革新により、これまでのサービスやその提供のあり方が大きく変化し、その効率性が飛躍的に向上する可能性があるといわれています。

開 | 発 | 課 | 題

企業の課題を3系（機械・電気・電子情報）のチームワークで解決する「開発課題」

学校で力がつく! 就職してからの力をつける!

■開発課題とは

応用課程4年次で実施される開発課題は、企業の生産現場で悩まれている課題を主としてテーマ選考を行っております。カリキュラムは、生産現場に密着した依頼や共同研究で得られたノウハウ、技術要素を実習課題に取り入れるなど、生産現場での実務に即した実践的技術を習得するように編成しています。その結果、「ものづくり」に関する企画・設計・製作のプロセスから、技術・技能を応用する能力、課題発見・分析力、計画推進力を身に付けることに主眼がおかれています。

企業の製品開発は、複数分野の技術者で構成されるものづくり現場で進められます。開発課題も同様に、3科の学生でグループを構成し、学生自ら専攻科の専門性を発揮することで課題へ挑戦するワーキンググループ学習を取り入れております。

異なる専攻科のメンバーとの共同作業により、ミーティング、発表等で幅広い知識・技能および各分野との複合技術を習得することができます。ものづくり技術者としてまた現場のリーダーとして、チームワーク力、コミュニケーション力、プレゼンテーション能力を身につけることが開発課題の狙いでもあります。

■開発課題の一覧

- ■狭空間内ケーブル搬送ロボットシステムの開発
- ■6次産業化に向けた農作業省力軽労化システムの開発
- ■FCV（燃料電池自動車）の開発
- ■船舶内ケーブル搬送ロボットシステムの開発
- ■バドミントン練習機の開発
- ■パワーコンディショナ実習用教材の開発
- ■下肢機能が低下した高齢者対象のリハビリ機器の開発
- ■解析用土練り機の製作
- ■海洋ロボットの開発
- ■汎用性を目指した天体望遠鏡の制御装置の開発
- ■超小型モビリティの開発
- ■農作物加工にかかわる省力軽労化システムの開発
- ■IoTを用いた生産設備異常診断システムの開発
- ■船舶用結束バンド製造装置の開発
- ■部分入れ歯を対象とした歯科技工省力化装置の開発
- ■AGVの開発

企　画

3系の学生でチーム編成

企業とのミーティング

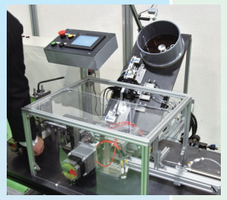
課題の背景・ニーズの調査

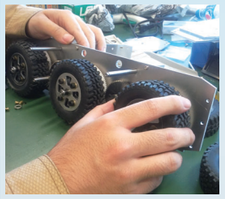
自分の専門の話は詳しく丁寧に、
他系の話を勉強して

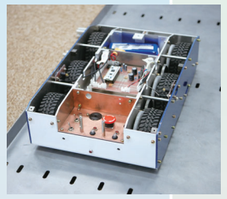
4 年 次

設計・開発

製　作







評　価

学会から表彰されました!

企 業

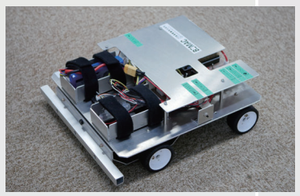
建造中の船舶内の配線作業は
手作業で行われている。
自動化したい!

試しに使ってみた。
機能としては悪くない。
作業環境に合わせた改良を希望

実際に船舶内の配線作業で
使っています。

船の構造に合った
パワフルな走行ロボットかな

必要な技術要素を
集めて試作機を作ろう



試作一号機 試験走行の様子

試作一号機 完成!

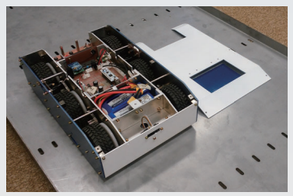
操作性・走行時間・
メンテナンス性の検証

二号機の設計・製作

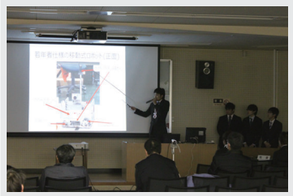
二号機完成!

報告書をまとめる・
発表会の準備

現場での動作実験



狭空間ロボット完成品



プレゼンテーション

本大学校の成果

BEMAC株式会社

丸亀市にある造船所では、全長400mもの大型コンテナ船が建造されています。その船内には電力や通信・制御に使用する電線を敷設する必要があります。その作業の多くは、船内の狭い場所で手作業により行われておりました。

今回、大学校の学生に現場を見てもらい、狭い空間で電線の敷設作業を支援する自走式ロボットを、開発課題のテーマとして提案させていただき開発をお願いしました。

現在、試作ロボットを含め、丸亀、西条、今治の造船所で実際に稼働しており、手作業が低減でき、効率化・生産性の向上に役立っています。

本社所在地:愛媛県今治市野間甲105番地　TEL:0898-25-8282

[フジタ自動車工業株式会社]

どんとこい。 私たちはトラック荷台のプロです

さまざまな用途に使われるトラックボデーの特殊な形状や条件を満たすよう、一台一台オーダーメイドでの設計・製造を手掛けています。四国ではトップクラスのシェアを誇り、当社の製品は全国各地で活躍中。あなたがまちで見かけるトラックの荷台も、私たちがつくったものかもしれません。

[DATA]:〒761-2103 香川県綾歌郡綾川町陶1500-41　TEL 087-876-5311

製造部製造2課

松本 大樹 さん

平成30年度修了

専門課程 生産技術科

当社がつくるトラックの荷台は1台1台オーダーメイドで、毎回違う図面で違うものをつくっていくところに惹かれました。現在はシャーリングやプレス、レーザー加工機を使った鉄板加工を担当しています。僕の担当した部品がものづくりの大元となり、製品として仕上がっていく過程は、ものづくりの楽しさにあふれています。当社が手掛けたトラックが公道を走っているのを見かけると、しみじみうれしいですね。

学生時代にアーク溶接と自由研削砥石の資格を取得し、マシニングセンタやレーザー加工などさまざまな機械操作を経験していたので、業務にはすぐになじめました。グループ活動を通じて身につけたコミュニケーション能力も発揮しています。少しずつ作業効率や段取りを意識して動けるようになってきましたから、一つ一つ丁寧な作業を心掛け、まずはプレスを全面的に任せてもらえる人材になるのが、今の目標です!

上司の方から一言

設計部 設計課 **谷角 智秀 様**

自分の得意分野を見出すチャンスが多く、社会で即戦力を目指せるという点で、大学校はまたとない環境です。松本さんも大学校で学んだスキルを活かし、自分から次の段取りを聞く積極的な姿勢もあって、毎日着実に成長しているのがわかります。慣れた仕事でも「何故やるのか」「どうすればいいか」といった意味まで考えて動けるようになれば、「作業」から「仕事」へのレベルアップ。より広い視野で物事を考えられる人材に育つと期待しています。何事も全力でチャレンジしてほしいですね。

[株式会社タダノ]

世界のインフラづくりを支えるクレーンメーカー

日本で初めて油圧式クレーンを開発、建設用クレーンの分野では国内トップシェア。海外の業界をもリードするグローバルなネットワークを確立してきました。当社のコア技術を活かすLifting Equipment(抗重力・空間作業機械)という事業領域を新たに定め、LE事業世界ナンバーワンを目指しています。

[DATA]:〒761-0185 香川県高松市新田町甲34番地　TEL 087-839-5525

試験研究部　LE試験第1ユニット

田内 亮太 さん

平成30年度修了

応用課程 生産機械システム技術科

高校の時から自動車やものづくりが好きで、大学校では設計から加工、組立までの一連の流れを学ぶとともに、機械製図3級、機械検査3級、機械加工旋盤2級などを取得。学生時代、積極的にいろんなことにチャレンジしてきたおかげで、実務に入っても先輩や上司の言うことがわかりやすく、社会人としてゼロからのスタートではなかったなと思います。

当社の魅力は、大型自動車、それも建設機械として社会に貢献するものづくりを手掛けるところ。私は新規開発車両の試験担当として、さまざまな基準に基づく試験評価と分析を行っています。開発の最終段階に当たる重要な業務であり、重量物を扱うため安全管理も欠かせず集中力が問われる環境ですが、新機種を一番最初に扱えるという面白さは格別。たとえ問題があっても、自分の提案で改善できればやりがいにつながります。目標は社会に貢献できるような特許を取得すること!

上司の方から一言

試験研究部　LE試験第1ユニットマネジャー **井上 康彦 様**

配属されて半年足らず、まだまだ先輩の指導下ではありますが、試験準備のための加工や、計測作業を行なっています。機械に関する関心が高く、設計・加工・組立てを学んだ基礎があるため構造関係の理解も早い。また、すぐ行動に飛びつかず、「今何をするべきか」「何のための仕事か」を冷静に整理してから動こうと努める姿勢も見られます。このような行動は安全面からしても大変重要なことです。私を含めベテランの者は、長年同じ仕事をやっていると固定観念にとらわれることもあるのですが、彼のような若手の新鮮な見方が思いがけない改善につながったり、考えさせられることも多いんです。どんどん変化していく業界で当社が進化し続けるためにも、若い発想力を発揮してほしいですね。

[株式会社四電工]

今日を支え 明日を創る

四国電力グループの中で、電気・電力・通信関係事業を手掛ける総合設備企業です。四国全域に約40拠点を展開し、電力供給設備工事・一般建築設備工事からソフト開発・販売や情報通信インフラ整備まで、身近な暮らしを陰ながら支え、地域社会と文化の発展に貢献しています。
[DATA]:〒760-8588 香川県高松市西宝町1丁目8番24号　TEL 087-836-0116

設備工事部　設備1課

片岡 泰成 さん

平成28年度修了
専門課程 電気エネルギー制御科

私が所属する設備1課は、建物の現場代理人として、主に電気系の工事を担当する部署です。手掛ける現場はさまざまで、施設によって必要な設備も異なります。3年目で初めて一人で担当を任されて、最初は不安もありましたが、大切にしているのはポジティブな考え方。「自分の力でやり遂げる」責任感と、一人で抱え込まず周囲を積極的に巻き込み助けてもらう姿勢が大事だと気づきました。

就職に当たっては、大学校で学んだことをどこまで活かせるか試したいという思いがあり、実際に図面作成の基礎や電気工事士の資格が活きていますが、もうちょっと勉強しておけばよかったなと悔やむこともいろいろ…。周囲に流されやすかった学生時代の反省を踏まえて、今は「人と同じに甘んじない、＋αの向上心」を大切にしたい。研修や学習の場を設けてくれる会社の環境を活用して、1日30分でも資格取得に向けて努力を続けようと思っています。

上司の方から一言

設備工事部　設備1課長兼品質管理担当 **島本 英昌 様**

入社後に取得を目指すことが多い電気工事士を学生のうちに取得していて、CADの知識もあり、入社時点で基礎力の高さが光りました。3年目で現場を任されるのは、なかなか早いペースですよ。現場代理人は対人業務ですから、コミュニケーション力が高くて物怖じしない片岡さんの強みを活かせば、知識が多少未熟でもどんどんチャレンジできるはず。現場経験が問われる世界ではまだスタート地点に立ったばかりとはいえ、積極性を発揮して頑張る姿には大いに期待しています。

[四国計測工業株式会社]

電力会社向けシステム装置や産業向けメカトロ製品を提供する総合システムメーカー

四国電力グループの一員として、エレクトロニクス技術を核にさまざまな事業分野を展開する総合システムメーカーであり、エキスパートが揃う技術者集団です。電力関係をはじめとする産業用システムやプラント設備まわりの開発・設計・保守から最先端の研究開発まで、幅広いニーズに対応しています。
[DATA]:〒764-8502 香川県仲多度郡多度津町南鴨200番地1　TEL 0877-33-2221

製造事業本部　電力事業部
電力システム部　検査第一課

三井 翔平 さん

平成29年度修了
応用課程 生産電気システム技術科

大学校は他校に比べて実習が多く確かな技術が磨けること、グループ作業を通じてコミュニケーション力が身につくことが魅力。図面を読んだり機械や電気装置を制御する力も鍛えられました。

設計志望で入社しましたが、検査の仕事もやってみると面白い！　今の仕事は、発電・変電所につながる装置の社内試験や現地調整試験。お客さま立会いのもとでの改造作業もあり、直接聞ける「ありがとう」が一番のやりがいです。初めて現地に立った時は、自分がかかわる施設のスケールの大きさに圧倒されたことも覚えています。

今はまだ主担当者の作業補助といった立場ですが、検査課で主担当になれるようしっかり学んで、いずれは新しい装置を一から設計してみたいですね。忙しくて電気主任技術者の試験になかなかチャレンジできないのがもどかしく、後輩たちには学生時代にできるだけ資格を取得しておく方がいいとアドバイスしておきます。

上司の方から一言

製造事業本部　電力事業部　電力システム部　検査第一課長 **福原 賢治 様**

三井さんの業務は発電・変電所という公共インフラを支える重要な仕事であり、当社にとっては高い品質を守る「最後の砦」。プレッシャーのかかる仕事ですが、前向きに取り組む姿勢があり、先輩社員からも「2年目とは思えない頼もしさ」「仕事を任せられる」と高く評価されています。業務はチーム体制で、他部署との連携も欠かせませんから、コミュニケーションを大切にしつつ、「目標を持って実行する」という確固たるビジョンを持って、ますます成長してほしいと期待しています。

[株式会社アポロシステム]

情報技術で“未来”を紡ぐ

金融・医療・教育・製造・流通…当社が開発した情報システムが活躍している分野は多岐にわたります。提案から運用までを担当し、お客様に寄り添ったシステムを提供します。香川県の子育て・介護応援企業に認定されるなど、職場環境整備にも力を入れています。

[DATA]:〒760-0034 香川県高松市内町2番15号 エクセルビル　TEL 087-826-0301

高松事業部　公共グループ

田井 七依 さん

平成28年度修了

専門課程 電子情報技術科

高校で情報処理に興味を持ち、県内で専門的に学べるところを探して四国職業能力開発大学校へ。学んでみたら性格的にプログラミングが合っていたという発見もあって、授業は楽しかった。C言語を使ったものづくりを学んだことが、今の業務スキルの基礎になっています。気になることはやってみて、向いていなければ次へ行けばいい。そういう姿勢で得意分野を見つけました。

今は行政職員向けの固定資産税関係プログラムの製造・構築・保守を担当しています。エラーも出しがちですが、ロジックを考え、原因を追究する過程が楽しい。この業界には「一度で覚えろ」とか言われそうな厳しいイメージを持っていたものの、実際はみんな優しくて、「わからないことは何度でも聞いて」と丁寧に育ててくれる環境。スキルアップも年間目標に基づいて計画的に取り組めますから、今年度中にオラクルマスターの資格取得を目指して頑張っています!

上司の方から一言

高松事業部　公共グループ兼産業第二グループ　マネージャー **竹田 圭司 様**

ネットで何でも手軽に調べられる時代でも、学校で学ぶ「基礎」はやはり大事なんです。田井さんは大学校でプログラム的思考と基礎をしっかり身につけていたので、即戦力として活躍してくれています。客先常駐の業務で直接仕事ぶりを見ているわけではありませんが、お客さまからの評価は上々。既に一人で仕事を任せられるレベルの人材ですから、そろそろリーダーとしての指導力を身につけながら、自分自身のスキルも磨き込んでいく時期。部下をつけることも考えているところです。

[シコク・システム工房株式会社]

高いIT技術で業務の快適化をサポート

四国化成の情報システム部門から生まれ、企業経営を支える基幹システムの設計・開発・運用のノウハウをベースに、医療や各種製造業、食品、船舶など分野の枠にとらわれないシステム開発を得意としています。高い提案力と開発力を発揮し、お客さまのニーズや課題を柔軟に解決する「トータルシステムインテグレータ」を目指します。

[DATA]:〒763-0082 香川県丸亀市土器町東8丁目537番地1 四国化成ビル2F　TEL 0877-25-5200

開発グループ

稲村 玲央 さん

平成29年度修了

応用課程 生産電子情報システム技術科

学校教職員向けの服務管理システム、建設業向けの見積・積算関連システムなど、既存プログラムのカスタマイズを中心に、改善や修正を反映し、テストして納品するという業務を担当しています。難しそうな仕様を前にトライ&エラーを繰り返し、時間がかかってもうまく動かせた時の楽しさは格別。入社当初に比べると、ミスやエラーを踏まえて次に活かす応用力がついたとも思います。

学生時代からプログラミングに興味を持ち、授業では実習を中心に手を動かしてきたおかげで、社会に出てみて技術が身についていることを実感しました。座学より実習・実務を通じて経験した方が、頭にも身にもつくんですよね。今は経験値を増やすことに集中していますが、ロボティック・プロセス・オートメーション関係のセミナーをきっかけに興味が出てきたので、自動化や効率化も学んでみたい。AIを自分の仕事にどう反映していくかがこれからのテーマです。

上司の方から一言

開発グループ　マネージャー **岩﨑 哲也 様**

私たちの仕事は頭のやわらかさが一番大事で、失敗を恐れずチャレンジする姿勢を尊重します。稲村さんは「涼しい顔で何でもこなす」という印象。常に一定水準以上の結果を残してくれますし、何をやっても平均点以上をとろうとする負けず嫌いなところが頼もしい。大学校で基礎を身につけている分、話が通じやすいし、社会人としてのスタート地点が違うなと思いました。経験を積み、さまざまな業界・業務知識を深めて、お客さま先で対等に話ができる人材を目指してほしいですね。

[有限会社和住宅]

五感に触れる木の家づくり

家族の「和」を温かく包み込む、自然素材の健康住宅。無垢材ならではの味わいは時を重ねるごとに深まり、家族のあゆみを刻んでくれます。当社の家づくりは、完成してからがお施主さまとの本当のお付き合い。きめ細かいアフターサービスを掲げ、「世代を超えて受け継がれる」家を目指しています。
[DATA]:〒763-0085 香川県丸亀市飯野町東分931-1　TEL 0877-43-2753

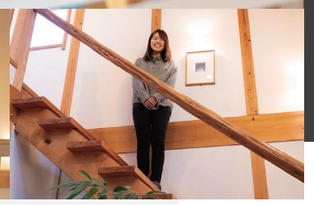
設計・コーディネーター

片上 悠 さん

平成28年度修了
専門課程 住居環境科

中学の時、父が施工管理を担当した家に連れて行ってもらい、父の姿を「かっこいい」と思ったのが建築へのきっかけでした。高校では普通科文系でしたが、文系でもチャレンジできると知って大学校に進学。授業で身につけた木造建築の基礎知識、特にJw_cadのスキルは今の仕事にとても役立っています。

お客さまへのプラン提案から始まり、部分詳細図から照明や壁紙のコーディネートまで、細かく打ち合わせを重ねてご要望通りの家をつくるのが当社の強み。打ち合わせの段階では内心「それ、本当に必要?」と思っていたご要望も、プランにしてみると驚くほど活きたりして、オーダーメイドならではの発見も多いですね。やりたいことを形にするために悩むこともありますが、自分のプランが形になって、お客さまに喜ばれるのが何よりうれしい! 木造ならではのあたたかさを大切に、女性目線で「家族が過ごす心地良い家づくり」を目指したいと思っています。



上司の方から一言

代表取締役 壱谷 泰三 様

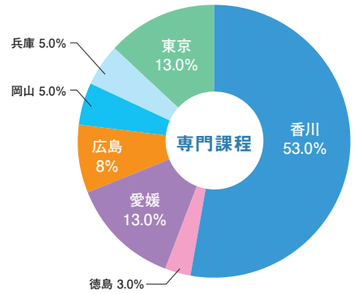
素直で明るく、笑顔で周囲を元気にしてくれる半面、負けん気が強くて陰ながら努力するタイプ。2級建築士を取得して、ますますやる気を見せてくれています。手書きの図面が驚くほどきれいなんですよ。柔軟性があって独自の発想が光るので、早くから期待していました。どんな仕事も、こつこつやって10年くらいでようやく本当の面白さがわかるもの。これからもゆっくりでいいから、一つ一つ目標を持って、着実に力をつけて階段を昇ってほしいですね。

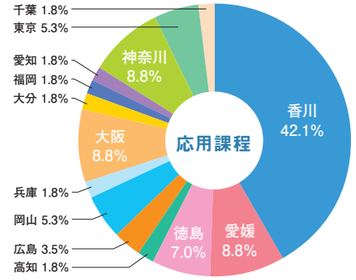
Job Information
就職支援について

就職率

2018年度	2019年度	2020年度
100%	97%	95%

就職先企業の所在地（2020年度実績）





主な就職先企業は、ホームページをご覧ください。

就職支援スケジュール

	1年生・3年生						2年生・4年生						
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
就職支援プログラム	就職相談												
			求人票受付・求人票提示										
	就職ガイダンス												
	SPI対策												
	自己分析												
				エントリーシート・履歴書の作成									
			リクルートマナー・面接の受け方										
				合同企業説明会									
				企業研究									
				ジョブ・カードの作成									
			企業訪問・求人開拓										
学生の動向	就職支援サイト（新年度）登録・利用　企業へのエントリー												
				試験対策（履歴書・エントリーシートの準備）									
						会社説明会・セミナー参加							
									選考・面接				
													内定式

就職Webサービス
学校内で簡単に就職情報を閲覧できるサービスを提供します。

就職情報ファイル
過去の先輩方の就活情報を集約し、各企業の傾向と分析について閲覧できます。

個別サポート
就職支援担当と担任が一体になって各自の就活をサポート。エントリーから面接まで一貫したサポート体制を提供します。

インターンシップへのサポート
専門課程1年次、応用課程3年次において、7月中旬の約2週間インターンシップを実施しております。期間中は、教員による巡回指導等サポートを行っております。

Mechanical System

[機械系]

1・2年次 専門課程 [生産機械技術科]

3・4年次 応用課程 [生産機械システム技術科]

ものづくりのプロセスに高い付加価値をもたらす設計・製造ソリューションとヒューマンスキルを習得します。

私たちの生活はさまざまな「もの」に支えられています。身の回りのさまざまな製品を製作するために必要な技能・技術・知識を習得した機械技術者の育成が求められています。機械系では、ものづくりに必要な機械工学・設計・加工・計測・制御等の技術を実学一体的に習得します。

[取得可能な資格]

- 国家技能検定試験（旋盤、フライス盤、数値制御旋盤、機械検査、機械・プラント製図）
- CAD利用技術者試験（2次元、3次元）

機械系エンジニアの技術分野

[機械設計技術]

機械製品を生産するために必要となるメカニズム
3次元CAD、シミュレーションを活用した設計技術
[主な職種] ■産業機械や車両・船舶等のボディを設計する職種

[機械加工技術]

機械部品を製作する工作機械の操作技術
手動、コンピュータ制御から3次元プリンタによる部品加工技術
[主な職種] ■車両や船舶等の構成部品を製作する職種

[機械制御技術]

工場内の自動化生産ラインやロボット技術に必要となるモータ、センサの制御技術
[主な職種] ■工場の製造ラインを設計する職種

[機械メンテナンス技術]

工場内に設置されている機械の運用、保全管理するための技術
[主な職種] ■工場の製造ラインの稼働準備や維持点検をする職種

1・2年次　専門課程

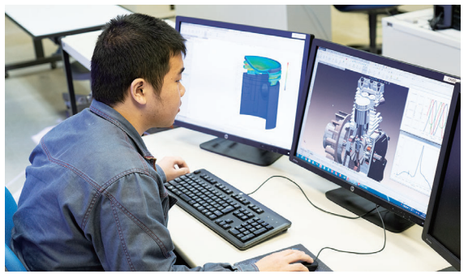
生産機械技術科

INUI TEKKA

乾 鉄火
中村学園三陽高等学校
普通科 出身

機械製造を広くカバーできる実践に即した技術者を育成。

別の大学を目指していましたが、実習の充実ぶりや多彩さに魅力を感じ、本校に進学することを決めました。今は専用のコンピュータを用いて、シーケンス制御のプログラムを組んだり、2次元CADを使って設計図を作っています。本校の実習はどれも面白くて、ものづくりに一段と興味が湧いてきました。先生も優しく指導してくれるので、わからないことも聞きやすい環境です。旋盤2級の資格取得と応用課程に進学することを目標に頑張っています。



機械設計

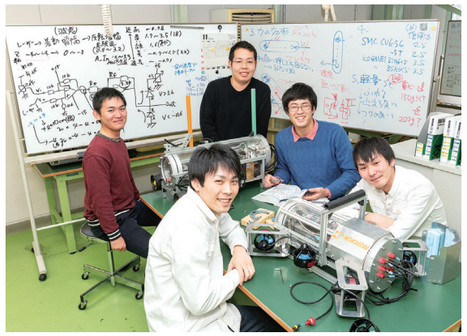
機械設計では、ものづくりに使われる材料の性質やそれを生かした設計方法を学びます。設計する場合も、3次元CADで立体的に設計を行い、パソコン上で力を加え強度が持つかどうかシミュレーションを行ったり、実際の運動を再現し目的の運動特性や慣性力等を求め設計に反映します。

機械加工

機械加工は、設計されたものの形状を作るために、専用工具、工作機械等を使い素材を加工することを言います。削り取る、磨く、接合するなど様々な方法があり、昔ながらの人の手で操作する機械もありますが、現在はコンピュータ制御で複雑な動きをさせる機械が主流です。

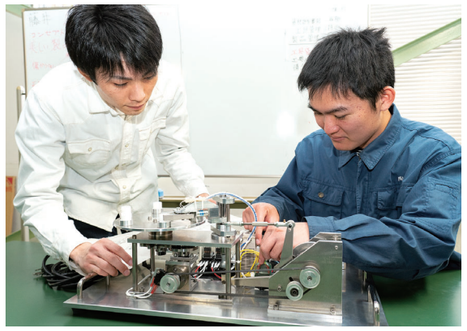
シーケンス制御

シーケンス制御は、自動洗濯機やエアコンなどの身近にある電化製品をはじめ、信号機、自動販売機などの装置を制御（コントロール）するために使われている技術です。シーケンス制御専用のコンピュータ（PLC）でいろいろな装置を思い通りに動かすためのプログラミング技術を学びます。



開発課題

開発課題とは企業などから課題をいただき、問題を解決しながら電気系・電子情報系と一緒に開発を行います。このチームは水中探索ロボットを開発しているチームです。



標準課題

科で5,6人のチームを組んでひとつの課題製作をします。チーム内でリーダなどの役割を決めワンチームで課題に取り組みます。

生産自動化システム実習

産業用ロボットなどを操作し、実際の生産設備をイメージした自動生産ラインの具体的な構築・運用・管理技術を学びます。

3・4年次　応用課程

生産機械システム技術科

機械装置の開発から構築まで、現場のニーズに応えられるリーダーを育成。

ものづくりが好きで、小さい頃から棚やいすを作っていました。高校は普通科で機械の知識がなく、授業についていけるか不安でしたが、先生が優しく丁寧に教えてくれたので安心しました。授業は実習が多くて実践的。現在はコストや質量の制約がある中、材料の選定から、設計・加工・組立まで一連の作業を学んでいます。自分で考えた機能で機械が動いた時は感動します。技術と知識を身に付け、地元に貢献できる技術者になるのが目標です。

樋本 哲平
徳島県立小松島高等学校
普通科 出身

HINOMOTO TEPPEI

Electric and Electronic Systems

[電気電子系]

1・2年次 専門課程 [電気エネルギー制御科]

3・4年次 応用課程 [生産電気システム技術科]

みんなの生活と未来のエネルギーを支える電気のスペシャリストを目指します。

私たちの生活に絶対に欠かすことができない「電気」。
現代社会においては、ロボットや自動化機器、電気自動車等の需要が高まり、「電気」の重要性はますます高まっています。電気電子系では、ものづくりや生活基盤に必要な電気工学・設計・施工・計測・制御等の技能・技術を実学一体的に習得します。

[取得可能な資格] ■ 電気主任技術者 ■ 電気工事士 ■ 国家技能検定試験（電気系保全作業・シーケンス制御作業）

電気電子系エンジニアの技術分野

[電気管理技術]
電気設備の施工や管理をするための技術
[主な職種] ■ 電気設備の電力管理職種 ■ 施工管理職種

[電気制御技術]
工場内の生産ラインの運用に欠かせないPLC（工業用コンピュータ）を利用するための制御技術
[主な職種] ■ 生産ラインの設計・製作・保守職種

[エネルギー管理技術]
太陽光や風力を利用した再生可能エネルギーを有効に活用するための管理技術
[主な職種] ■ 発電設備を管理する職種

[プロセス制御技術]
化学工場や発電所などを対象としたシステムを管理するための技術
[主な職種] ■ 化学工場の管理などの職種

1・2年次　専門課程

電気エネルギー制御科

OOMI HIKARU

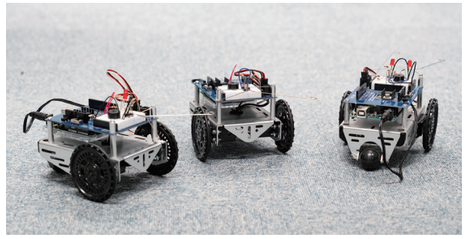
大見 光輝
香川県立三木高等学校
文理科 出身

環境に優しい社会を支える電気技術者を育成。

電気は日常生活に欠かせないもの。仕事としても興味があったので、進学するなら工学系と決めていました。実習重視で普通科出身の自分がついていけるか不安でしたが、一から丁寧に教えてくれるので安心しました。好きな授業はシーケンス制御。一つ一つの動きは単純ですが、組み合わせると複雑になるので、パズル感覚で楽しんでいます。技術を身に付けると、次の目標が見えてきます。今は第一種電気工事士の資格取得を目指して勉強中です。

制御盤製作実習

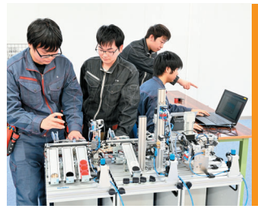
工場内の自動化を学び、機械を動かすために必要な制御盤を製作します。シーケンス制御の知識・技術を活用し、配線のルール、穴あけ加工、配線方法、配線点検作業について習得します。



自律型ロボット製作実習

マイコン(小型のコンピュータ)を用いた自律型ロボットの仕様設定から設計製作、プログラミング、動作確認、評価まで、電子機械開発の開発プロセスを一通り行います。

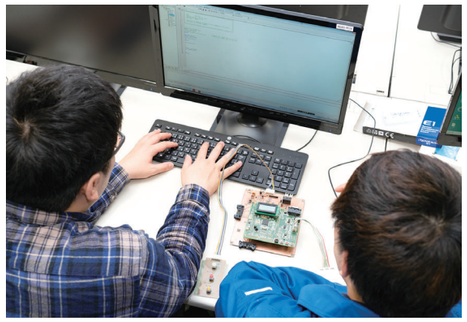
総合制作実習



若年者
ものづくり競技大会
「メカトロニクス部門」

Ene-1 Challenge

総合制作実習では、自分たちで選定したテーマに1年間取り組み、制作物を完成させます。また、テーマの一つとして、近年では若年者ものづくり競技大会(メカトロニクス部門、電気工事部門)や、Ene-1 Challenge(単三電池40本で動く電気自動車の大会)といった、全国規模で行われる競技大会へ積極的に参加しています。



コンピュータ応用実習

さまざまな装置を制御するために、マイコンは必要不可欠です。マイコンの動作原理を理解し、制御用のプログラミング技術を学びます。太陽電池からの電力を変換する装置や、電気自動車に搭載されたモータを駆動するために利用します。

CAD/CAM応用実習

電子回路設計を行うためのCAD技術を習得します。ソフトウェアで設計支援を行うことで、より確実で効率のよい設計を行うことが可能になります。CADで設計した基板データを用いることで、電子装置に欠くことのできないプリント基板の製造を行います。

開発課題

写真の装置は、天体望遠鏡を制御するためのもので、主に電子回路の設計・製作に取り組みました。

3・4年次　応用課程

生産電気システム技術科

自然エネルギー、電動力応用、自動化に対応できる技術者を育成。

とにかく実習が多くて楽しい!今は、CADを使って基板の設計をしたり、グループ活動の標準課題では、先輩から引き継いだEVカーを改良しています。先生が丁寧にわかりやすく教えてくれるので、わからないところは積極的に聞いています。好きな授業はプログラミング。自分で最初から作るのも好きですが、エラーが出た時にデバッグして、思い通りに動作した時の達成感は格別。将来は保守メンテナンスの仕事に就きたいと考えています。

SHINOHARA KEITA

篠原 敬太
愛媛県立三島高等学校
普通科 出身

Electronic Information Control Systems

[電子情報系]

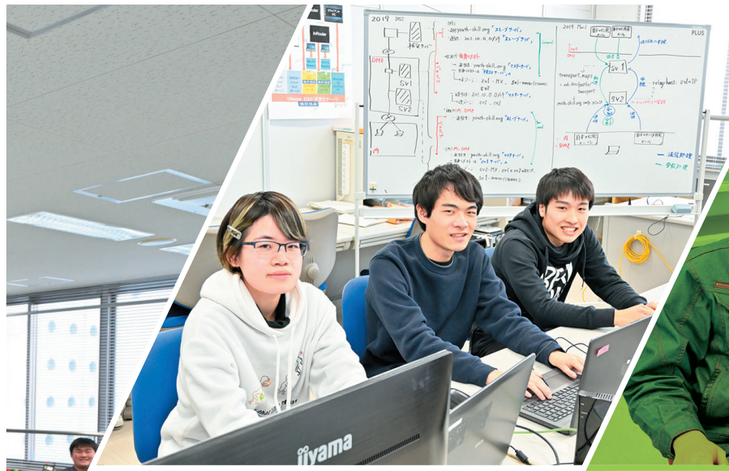
1・2年次 専門課程 [電子情報技術科]

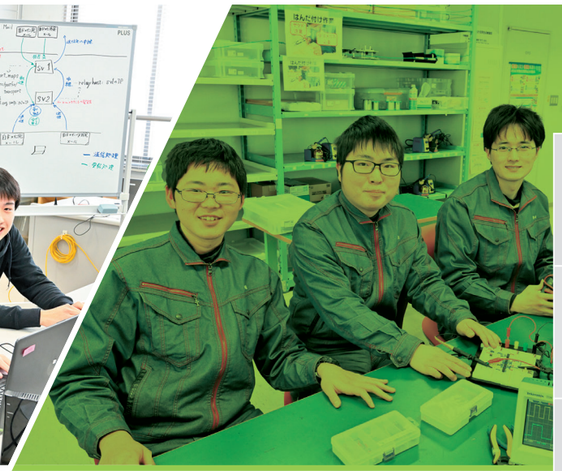
3・4年次 応用課程 [生産電子情報システム技術科]

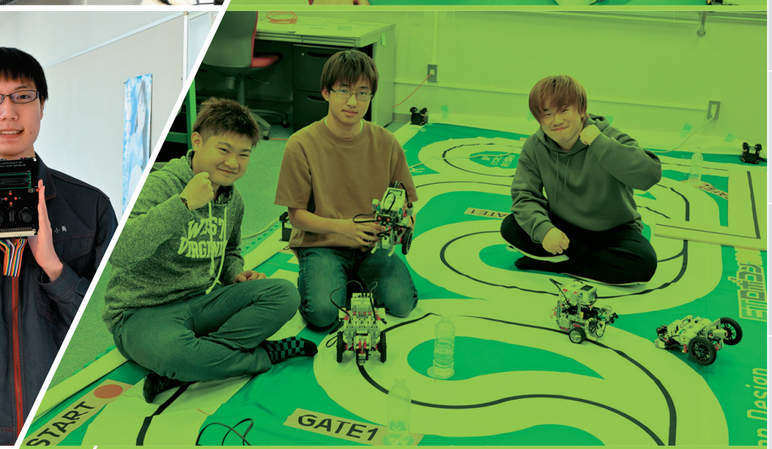
現代社会を支える、ICT(Information and Communication Technology)でものづくりに必要な技術と、ヒューマンコミュニケーション能力を習得します。

われわれの生活は、電子情報通信技術によって支えられています。
将来、われわれの生活や職場には、IoT・AI・ビッグデータ・協働ロボットなどが普通に用いられていることでしょう。
電子情報系では、ICT分野の実践的な技術者の養成を目的に、ハードウェア、ソフトウェア、情報通信技術をバランスよく学ぶことができます。

[取得可能な資格] ■ 基本情報技術者 ■ .com Master ■ 国家技能検定試験(電子機器組立て)







電子情報系エンジニアの技術分野

[ハードウェア設計技術]

電子部品を使った組込み機器、ロボットなどのハードウェアの設計技術
(ハードウェア記述言語を用いた高速動作可能なハードウェア設計技術)

[主な職種] ■ 組込み機器(スマホ、情報端末など)の設計開発職種 ■ 産業機器の開発・メンテナンス職種

[コンピュータシステムプログラミング技術]

システム開発環境の構築や、
コンピュータシステム開発に必要なプログラミング技術

[主な職種] ■ システムエンジニア職種 ■ プロジェクトマネージャ職種

[情報通信ネットワーク運用技術]

有線、無線のネットワークを設計し、
安定したセキュアなネットワークを運用するための技術

[主な職種] ■ ネットワークシステム設計職種 ■ ネットワーク維持管理職種

[ICT活用技術]

IoT、AI、ビッグデータ、ロボットなど、電子情報通信技術を用いた新分野技術

[主な職種] ■ 製造現場のICT関連職種 ■ 情報通信業の新分野関連職種

1・2年次　専門課程

電子情報技術科

IGUCHI HIIRO

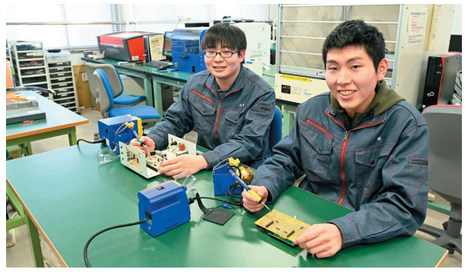
井口 陽彩
香川県立三本松高等学校
普通科 出身

電子情報のスペシャリストとして社会に通用する人材を育成。

小学生の頃からゲームが好きでプログラミングがやりたくて、実習が充実している本校に進学。文系出身でも授業はわかりやすく、先生との距離感が近いので質問もしやすいです。プログラミングは、同じ動作でも人によって仕組みが異なり、特徴が出るので面白いですね。誰が見てもわかるプログラムが作れるように、友人と切磋琢磨しています。デジタル化が進む中、社会のニーズに対応したシステムが作れるプログラマーを目指しています。

組込みプログラミング

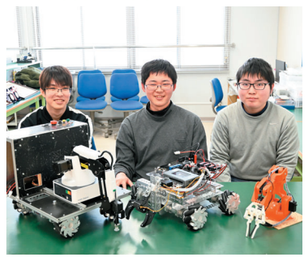
スマートフォンや家電製品の基本となるプログラムの技術を習得します。「AIやIoT、ロボットなどの組込みプログラムも勉強するぞ!!」



電子回路

電子回路の設計・製作の基本的な技術を習得します。「自分ではんだ付けした電子回路基板でロボットを動かすぞ」

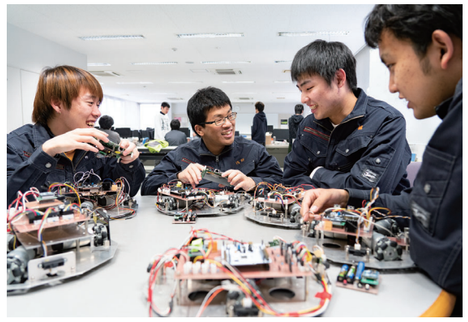
総合制作実習



2年間で習得した電子技術、情報技術、通信技術の3つの柱を活用して集大成となる卒業製作を行います。

総合制作で取り組んだ若年者ものづくり競技大会で6年連続入賞しました。

- ITネットワークシステム管理職種 厚生労働大臣賞 金賞
- 電子回路組み立て職種 銀賞
- ETロボットコンテスト 全国大会出場

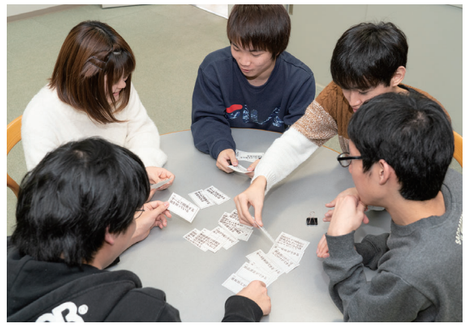


電子情報系標準課題

組込みシステム構築課題実習と電子通信機器設計製作実習の2つの課題が準備されており、グループで行う課題学習形式で取り組みます。専門的な技術だけではなくコミュニケーション能力も身につきます。

IoT・AIリテラシー実習、電子情報ゼミ

これからのエンジニアとして歩んでいくためには、これからの新しい技術も勉強しておく必要があります。難しい技術分野も、グループだと乗り越えられます。



キャリア形成論

社会人になった時、役立つキャリア形成に関する教科もあります。自分たちの実習の取り組みを、専門的な技能や技術、ヒューマンスキルの面から仲間と分析し、将来の自分の進路の参考にします。

3・4年次　応用課程

生産電子情報システム技術科

企画開発やシステムの構築に必要な技術を有する人材を育成。

IT業界に関わりたいと思い、工学系への進学を考えていた時に先生から本校を勧められました。ソフトウェア、ハードウェア、ネットワークの専門的な知識を幅広く学べるのが本校の魅力。課題では、無線を介してロボットを動かすプログラムを作成しています。実習が中心の授業の中で、私はウェブページを作る「通信プロトコル」が一番好きです。グループワークもあり、友だちと考えながら制作するのも楽しいです。

宮本 ひなの
徳島県立池田高等学校
普通科 出身

MIYAMOTO HINANO

Architect System

[居住系]

1・2年次　専門課程　[住居環境科]

快適な住環境のための計画・設計・施工を実践的に学び、住み手に寄り添う柔軟なイメージを形にする力を育みます。

建築に関わる技術者には、建築・建設分野の専門知識だけでなく、芸術・数学・物理・化学・社会学・経済学・心理学などの様々な分野に対する知識や、深い洞察力、そして工事現場に関する知識が必要になります。
居住系では、建築分野の知識だけでなく、様々な建築実習を通して広い視野と技術の面から、現場の技術者としての力を育成します。

[取得可能な資格]

■ 建築士（受験資格）■ 2級施工管理技士（学科のみ）■ 技能検定試験（建築大工）
■ インテリアコーディネーター ■ 福祉住環境コーディネーター

居住系エンジニアの技術分野

[建築設計技術]
建築物の計画・設計、インテリア計画等のための技術や、建築情報技術・プレゼンテーション技術
[主な職種] ■ 建築設計職種、企画・営業・販売職種

[現場管理技術]
施工図作成や見積・積算などの、現場の工事管理に必要な技術
[主な職種] ■ 建築施工管理職種、現場代理人

[構造設計技術]
建築物の構造設計に必要な技術
[主な職種] ■ 建築構造設計職種

[建築施工技術]
建設業の躯体工事（本体工事）や仕上げ工事など各種工事に従事するために必要な施工技術
[主な職種] ■ 建築施工職種（大工、内装、外装、設備等）

1・2年次　専門課程

住居環境科

TAKAISHI SHIORI

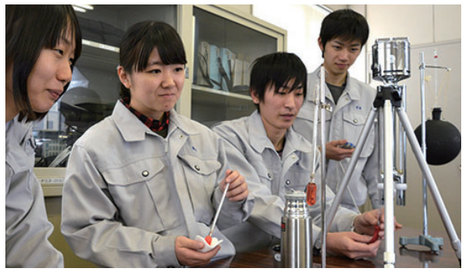
高石 栞
高知県立高知工業高等学校
建築科 出身

快適な住環境を想像する未来のクリエイターを育成。

ものづくりが得意だった祖父の影響で、職人という仕事に憧れていました。高校の建築科で学んだCADが面白くて、今はCADオペレーターを目指しています。オープンキャンパスで、実技中心の授業と充実した設備、就職先などの話を先生から聞き、「ここで学びたい」と高知を出て、寮生活をしています。女子の学生は少ないですが、みんな仲が良く毎日が楽しいです。目標の二級建築士の資格を取得し、本校で学んだことを現場で生かしたいです。

総合制作実習

総合制作実習では、自分達で選定したテーマに1年間取り組み、若年者ものづくり競技大会や、全国規模で行われる競技大会、また制作物を完成や競技会の入賞を目指します。住居環境科では、地域のイベント等へ積極的に参加しています。



環境工学実験

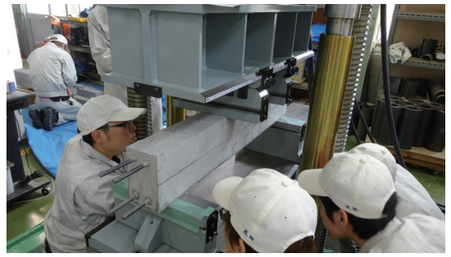
建築物の住みやすさ過ごしやすさを実現するためには、様々な住環境について知り、設計に活かすことが必要です。ここでは建築物を取り巻く室内や室外の環境（光・熱・音・振動など）について理解し、それらを実験・演習を通して理解を深めます。

建築設計実習

建築設計には、敷地の条件や環境、法規制や顧客の要望などに対応できる力が必要です。ここでは設計業務に必要な建築設計やインテリア計画などの知識だけではなく、設計製図、設計実習を通じて、建築設計技術に必要な技術を習得します。

建築プレゼンテーション

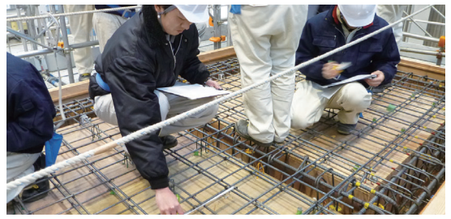
顧客に提案をする際には、分かりやすく、共感が得られ、意図が伝わるプレゼンテーション技術が必要です。ここでは建築・住居環境等の情報をコンピュータで活用するための情報処理技術を習得します。加えて顧客にプランを提案するためのプレゼンテーション技術なども学びます。



建築施工実習、建築構造実験

建築施工や建築構造は、知識だけでなくその技術を体感・経験し、自身の目で見ることが必要です。施工実習・実験実習では、建築物の骨組形態など見て学び、その施工技術を実際に体感することで、それらに知識・理解を深めます。

他の職業能力開発大学校応用課程への進学が可能です。



応用課程（建築施工システム技術科）では、建築物を建設するために必要な構造や施工方法を学び、実際に建物を建てる実習を通して実践的な施工と施工管理技術を学びます。

四国能開大の特徴的な実習

実践技能者基礎実習

入校後最初の実習授業では、創成型教育として自主性・ものづくり人材に必要な要素について学びます。修了後のものづくりを担う技術者としてのイメージを膨らませ大学校での目標意識を高めます。

本校では、入校時に専門課程1年生全員を対象に『実践技能者基礎実習』を実施しています。入校直後の約1か月で機械分野、電気分野、電子情報分野および居住分野の実習に挑戦します。様々な実習課題に挑戦して、ものづくりの面白さ、難しさを実感・体験し、今後の大学校での自主性・習得意欲・問題意識を高めることを期待しています。

実習形態は、科を超えた学生で構成するグループ方式で行います。自由な発想で企画・設計・立案し、グループ内で独自に問題課題を発見、解決策を探求する創成能力を育成します。また、これらを通して、総合的にチームワーク能力、プレゼンテーション能力、人間力を育成することを目指しています。他科の学生交流を通じて、キャンパスライフが楽しくなるように考えています。

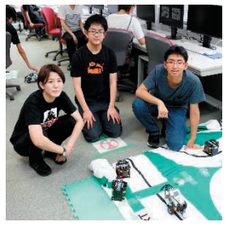
挑戦1　機械分野

自動車模型（マウストラップカー）の製作を通じて、機械図面の読み方や機械加工の中心的な技能を習得します。

挑戦2　電気分野

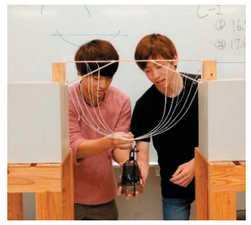
紙飛行機の製作を通して、製造業における生産管理の概要を習得します。

挑戦3　電子情報分野



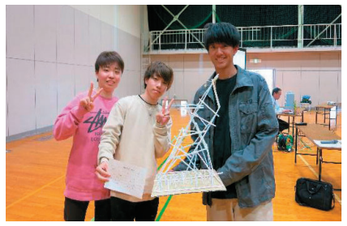
ロボットを使用してライントレース制御プログラミングに挑戦します。ICTとしてAI・IoT・ロボットについて習得します。走行競技大会を行います。

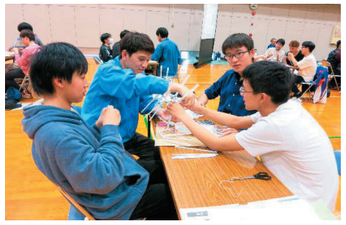
挑戦4　居住分野



ブリッジモデルの製作を通して、建築構造、図面の作図、模型の製作等居住分野の基礎技術を習得します。

挑戦5　ストロータワーの耐久度競技大会





入校生全員で集合して、グループごとに様々なアイディアでストロータワーを製作します。

耐久度の競技大会を行います。創成型教育の創始者である岡山大学の教授に指導していただきます。

挑戦6　発表会

最後の挑戦として、これまでの挑戦をまとめグループごとに発表をしていただきます。

プレゼンテーション能力も重要であることを確かめます。

学外活動

様々な大会での輝かしい結果や地域貢献など
学生たちの学外での活動を紹介します。

第14回 若年者ものづくり競技大会

6年連続 全国大会入賞！

若年者ものづくり競技大会は、厚生労働省、中央職業能力開発協会が主催する、若年者（原則20歳以下の未就職者）を対象としたものづくり技能を競う全国大会です。当大学校でも毎年多くの職種に出場し、次のような成績を収めています。※第15回は中止。

丸亀市長・市議会議長への受賞報告

ITネットワークシステム管理

■2019年度 14回大会（福岡県）

1位【金賞/厚生労働大臣賞】「ITネットワークシステム管理」職種
2位【銀　賞】「電子回路組み立て」職種
他出場職種「メカトロニクス」職種
「機械製図」職種
「電気工事」職種
「建築大工」職種
「ロボットソフト組込み」職種

■2018年度 13回大会（石川県）

1位【金　賞】「ITネットワークシステム管理」職種
2位【銀　賞】「ロボットソフト組込み」職種
4位【敢闘賞】「電子回路組立て」職種
他出場職種「機械製図（CAD）」職種
「メカトロニクス」職種
「建築大工」職種

■2017年度 12回大会（愛知県）

1位【金　賞】「電子回路組立て」職種
2位【銀　賞】「ITネットワークシステム管理」職種
他出場職種「機械製図CAD」職種
「ロボットソフト組込み」職種
「メカトロニクス」職種

■2016年度 11回大会（栃木県・沖縄県）

3位【銅　賞】「ITネットワークシステム管理」職種
3位【銅　賞】「機械製図CAD」職種
他出場職種「電子回路組立て」職種
「ロボットソフト組込み」職種

丸亀城、丸亀駅イルミネーションの製作

地域貢献

地域に開かれた大学校としてこのイルミネーションのデザイン製作に積極的に参加しております。

丸亀城では、令和2年9月12日～11月23日の期間で、夕暮れ時から午後9時まで、夜の丸亀城内のキャッスルロードにイルミネーションが装飾され、幻想的な光の演出が訪れた人たちの目を楽しませていました。

JR丸亀駅南口広場では、令和2年12月11日～令和3年2月7日の期間、夕暮れ時から午後10時まで、イルミネーションが点灯され、丸亀駅前の夜を彩りました。

キャッスルロード

丸亀駅
イルミネーション

丸亀城大手門

丸亀城
イルミネーション設置作業

Campus Calendar
年間スケジュール

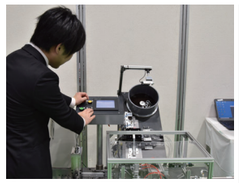
1年を通して、さまざまなイベントがおこなわれています。

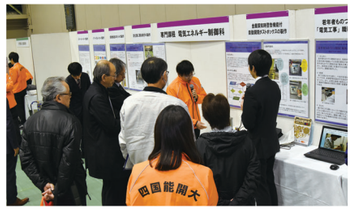
個性を発揮できるスポーツ・文化のイベントもたくさんあります。

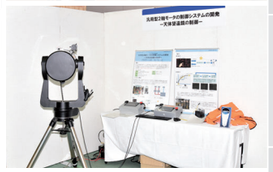
入校式 新しい学生生活のはじまりです。

稲葉杯飯野山 登山大会
通称「さぬき富士」に挑戦します。

能開大フェスタ 大秋祭（学園祭）
ものづくり体験教室や模擬店、ステージイベントなど内容が盛り沢山のイベントです。







能開大ものづくり研究発表会
（ポリテックビジョン）
日頃の研究成果を発表します。

修了式 先生方、今までお世話になりました。

4 入校式
5 稲葉杯飯野山 登山大会
6
7 インターンシップ 集中授業
8 夏休み
9
10 能開大フェスタ大秋祭（学園祭） 就職ガイダンス スタート
11
12 冬休み 集中実習
1 合同企業説明会
2 能開大ものづくり研究発表会
3 春休み 修了式・卒業パーティー

放課後は仲間と楽しくスポーツ 課外活動［サークル活動］

※会員数活動日時は変わる場合があります。
※会員構成は自由です。他科・他学年の学生とも交流できます。
※やりたいサークル活動があれば、新しく作ることができます。

1 役員数 約10名
学生自治会

2 会員数 約10名
フットサル

3 会員数 約20名
バスケットボール

4 会員数 約10名
バドミントン

5 会員数 約15名
バレーボール

6 会員数 約9名
テニス

県外からの学生にも嬉しい学生寮

STUDENT DORMITORY

四国内はもちろん、近畿・中国・九州地方などから集まった学生が生活しています。全室個室で、男子寮が89室、女子寮が20室あります。(空調完備)

快適な学生生活を送れるように、あらゆる面で、きめ細やかにサポートします。

入寮申し込みは学生のどなたでもできますが、希望者が多数の場合、通学距離や保護者の所得等により選考を行います。費用は、月額約4.6万円(寄宿料、食費、光熱費など)です。

学生寮で生活する学生さんの1ヶ月の生活費(例)

■寄宿料	16,000円	共益費 11,000円 寄宿料 4,700円 備品積立金 300円
■食　費	27,300円	1日3食910円(現行)×30日 ※1ヶ月30日間の場合
■合　計	43,300円程度 (その他光熱費)	

みんな大好き!!

学生寮食堂人気メニュー

ロコモコプレート(日替わり定食)

カツ丼(味噌汁付き)

唐揚げ定食(日替わり定食)

POINT! 食堂には、この他にもとっても美味しいオススメのメニューが盛り沢山です!

よくある質問?

課程やカリキュラムについて

Q 他の大学との違いを教えてください

文部科学省の所管以外で、法律に特別な規定がある大学校を「省庁大学校」といいます。本大学校は、厚生労働省が所管する国が設置した省庁大学校で、職業能力開発促進法に基づき専門的な技能・技術を兼ね備えたエンジニアを育成することを目的として設置されています。

Q 専門課程と応用課程の違いを教えてください

専門課程(2年)は、基礎的な技能・技術から専門分野に必要な技能・技術までを体系的に習得する課程で、自らものづくりができる実践的な能力を身につけることができます。応用課程(2年)は、高度な技能・技術や、ものづくりに関わる企画・開発する能力を身につけて、産業界で必要とされる生産現場のリーダーとしての能力を身につけることができます。

Q 授業時間はどれくらいですか?

1時限の授業時間は100分です。1日に4時限あり、月曜日から金曜までの週5日制です。

Q 授業はどのように進むのですか?

1科の定員は20名もしくは25名の少人数で、学生の習得度を確認しながら、基礎から応用まで確実にスキルアップできるようにカリキュラムを設定しています。

キャンパスライフについて

Q 奨学金制度はありますか?

技能者育成資金融資制度があり、要件を満たした学生について貸与が行われます。また授業料減免等の措置(要件あり)もあります。
なお、日本学生支援機構の奨学金制度は利用できません。

Q 自動車・バイクの通学は可能ですか?

駐車場・駐輪場を完備しています。申請により、自動車・バイクで通学することは可能です。

Q クラブ活動はありますか?

現在、サークルとしてフットサル、バスケットボールなどがあり、放課後に積極的に活動しています。

Q アルバイトは可能ですか?

放課後や土日の休日など、学業に支障のない範囲においてアルバイトをすることは可能です。

Q 学校生活や授業への不安が生じた場合、相談できる場所はありますか?

各科の担任や学生相談室(週1回放課後／予約制)のカウンセラー(臨床心理士)に相談することができます。

カウンセラー

就職について

Q 就職時の学歴区分はどうなっていますか?

内閣府の人事院規則における学歴区分では、公務員試験や待遇において専門課程修了で短期大学卒、応用課程修了で、4年生大学卒として扱われます。また民間企業の求人でも基本的に同等の扱いとなっています。

Q 就職支援はどのように行っていますか?

入校直後から、各科の担任と就職支援アドバイザーが連携して、学生の就職支援にあたります。当大学校の修了生の技能・技術は企業からも高く評価されており、毎年多くの求人をいただいています。

入校時に必要な経費について

在学中の経済面をサポートする制度も、整っています。

①入校料・年間授業料(現行)

■専門課程入校料	169,200円
■応用課程入校料	112,800円
■年間授業料	390,000円(半期ごとに 195,000円を納付)

②その他必要となるもの

■職業訓練生総合保険	15,400円(2年間分)	■同窓会費	5,000円(入校時のみ)
■自治会費	10,000円(2年間分)	■教科書・実習服など	(科によって異なります)

③技能者育成資金融資制度

職業能力開発大学校等の学生を対象とした融資制度です。経済的な理由など、一定の要件を満たした場合に、融資が受けられる経済支援制度です。申し込みは入校後となります。

■自宅通校生	500,000円／年
■自宅外通校生	590,000円／年

④その他の融資制度

日本政策金融公庫による「国の教育ローン」などがあります。利用にあたっては、必ず詳細をご確認ください。

※駐車場も完備しております。

■JRでお越しの方

高松〈予讃線〉	→	丸亀駅［約40分］
琴平〈土讃線〉	→	丸亀駅［約23分］

岡山〈瀬戸大橋線:マリンライナー〉→ 坂出〈予讃線〉→ 丸亀駅［約55分］

■バスでお越しの方〈JR丸亀駅より〉

丸亀コミュニティバス 垂水線〈左回り〉・ 綾歌宇多津線〈綾歌保健福祉センター:湯舟道行〉 → ポリテクカレッジ前下車 徒歩8分

専門課程

- 生産機械技術科
- 電気エネルギー制御科
- 電子情報技術科
- 住居環境科

応用課程

- 生産機械システム技術科
- 生産電気システム技術科
- 生産電子情報システム技術科

Facebook 配信中

本校ではFacebookを利用した学生の学校生活・実習風景を随時配信中! 普段は見せない学生の素顔や授業風景を覗き見ちゃおう!
皆様からコメントも受付中!ぜひ「いいね」をクリックしてね!

https://www.facebook.com/shikokunokaidai

いつでも、何でも相談窓口	お問い合わせ先

厚生労働省所管
四国職業能力開発大学校
学務課 TEL(0877)24-6255
質問・疑問のあるとき、お気軽にお問い合わせください。スタッフが笑顔で対応いたします。

〒763-0093 香川県丸亀市郡家町3202番地／FAX (0877)24-6291

http://www3.jeed.go.jp/kagawa/college/

四国能開大